

## “日清食品カップ” 第37回島根県小学生陸上競技交流大会要項

1. 主催 一般財団法人島根陸上競技協会
2. 後援 島根県教育委員会・NHK・公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団
3. 協賛 日清食品ホールディングス株式会社
4. 主管 益田市陸上競技協会
5. 日時 2021年7月4日(日) 午前9時競技開始(予定 プロ編成後連絡)
6. 開閉会式 開会式は開会宣言のみとし、競技終了後全国大会出場者を対象に説明会をする。  
(9月18日(土)・19日(日):横浜市 日産スタジアム)
7. 場所 益田陸上競技場
8. 競技種目 (男子) 5年100m・6年100m・コンバインドA(80mH・走高跳)  
コンバインドB(走幅跳・ジャベリックボール投げ)  
(女子) 5年100m・6年100m・コンバインドA(80mH・走高跳)  
コンバインドB(走幅跳・ジャベリックボール投げ)  
(男女混合) 4×100mR(今年度は全国大会ではリレーは行わない)
9. 参加資格 (1)選手は、島根県在住の小学校5・6年生に該当する児童とする。  
(2)県外のクラブチームに所属する選手の出場は認めるが、複数県での出場や、他団体との二重登録は認めない。  
(3)リレー競技におけるチーム編成は男女混合で6名とする。(郡市及び陸上教室単位でもよい。)  
(4)参加種目制限1人1種目。(リレー競技と個人種目を兼ねてもよい。)
10. 競技方法 (1)2021年度日本陸上競技連盟規則、及び第37回全国小学生陸上競技交流大会競技方法に準ずるが、児童の年齢を考慮した教育的配慮のもと競技を行う。  
(2)スタートは、クラウチングスタートを原則とし、イングリッシュコールとする。スタートに関するルールは、従来どおりとし、同じ競技者が2回不正スタートで失格とする。  
(3)トラック競技の決勝は、予選上位8名、または、8チームで行う。同タイムで8名(8チーム)を上回る場合は、抽選とする。  
(4)スパイクを使用してもよい。(裸足は禁止)  
(5)リレー競技におけるバトンパスは、必ずテークオーバーゾーン内で行い、男女各2名で編成し、走順は自由とする。  
(6)男女80mH走は、以下の高さ、インターバル等で行う。

スタートから第1ハードル	高さ	インターバル	台数	最終ハードルからゴール
13m	70cm	7m	9台	11m

- (7)走高跳(はさみ跳び)について
  - ・跳躍方法は、はさみ跳びとし、マットへは足裏からの着地を原則とする。背・腰等からの着地は無効試技とする。
  - ・試技は1mの高さから開始し、以後5cm刻みでバーを上げる。自分の申告した高さから競技を開始し、2回連続して失敗した時点で終了とする。
- (8)走幅跳、ジャベリックボール投げについて
  - ・走幅跳、ジャベリックボール投げともに全国大会競技規則に準じて2回の試技とする。
  - ・ジャベリックボール投げの助走距離は15m以内とする。
  - ・ジャベリックボール投げの試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることをとする。(羽だけを持って投げることは禁止する。)
- (9)コンバインドA、Bについては以下の順で行う。
  - ・コンバインドA 80mH ⇒ 走高跳。
  - ・コンバインドB 走幅跳 ⇒ ジャベリックボール投げ。
  - ・各種目得点は「JAAF小学生コンバインド種目得点表(2020年度版)」による。

11. 表 彰 (1) 各種目 6 位までの入賞者に賞状、3 位までにメダルを授与する。  
(2) 参加者全員に記録賞を授与する。
12. 申込方法 (1) 別紙に示す所定の申込用紙によりメールで申し込むこと。  
(2) 大会参加承諾書・体調管理チェックシートは、当日受付にて提出すること。
13. 申 込 先 申し込みについては、所定の様式（県陸協ホームページよりダウンロード）に記入し、  
・全国交流県大会申込書 2021.xls  
メールで申し込む。[masuriku2019@gmail.com](mailto:masuriku2019@gmail.com)
14. 申込締切 令和3年6月18日（金）必着
15. その他
- (1) ナンバーカード・安全ピンは、本協会で準備したものを使用する。
  - (2) 参加者全員が、本協会の負担により、スポーツ傷害保険に加入する。
  - (3) 大会参加時の事故・急病については、救急処置以外の責任は負わない。
  - (4) 新型コロナウイルス感染症対策については、別紙「島根県小学生陸上競技大会・記録会の開催について【新型コロナウイルス感染症対策】」を熟読の上遵守すること。
  - (5) 映像・動画・画像の二次使用について  
本大会主催者および主催者が認めた第三者が大会運営および宣伝等の目的で、  
大会ポスター・プログラム・パンフレット・大会報告等への使用、  
およびテレビ・ラジオ・新聞・雑誌・SNS・ホームページ等の媒体に掲載することがある。